

あつぎ

特別号 厚木市 2024

事業と予算のあらまし



小・中学校給食費
無償化スタート

2024年度の目玉事業を一挙に紹介



新年度予算を報道機関に発表

2024年度 施政方針要約

あつぎ愛を原点に誇れるまちへ

市議会第2回会議の初日、市政運営の考え方や重点的に取り組む施策を表明しました。議会では、総額1725億830万5千円の予算が成立しました。

昨年2月に第6代厚木市長に就任し、早いもので1年を迎えようとしています。私は就任当初から、「厚木愛炸裂」を掲げ、このまちに眠っているさまざまな可能性を掘り起こし、市民の皆さまが誇りを持ち、住んで良かったと感じられる、魅力あふれるまちとして磨き上げていく強い決意で市政運営にまい進してきました。

まずはやりたい8つの政策を推進

皆さまと約束した「まずはやりたい8つの政策」として、18歳までの医療費無償化、高齢者バス割引乗車券「かなちゃん手形」や高齢者タクシー利用券の助成額の大

幅拡大など、安心して子育てができる環境の充実や高齢者の外出支援に取り組むとともに、私が掲げる県央姉妹都市構想を契機に、「県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定」を締結し、近隣自治体とより一層の緊密な連携体制を構築するなど、スピード感を持って事業を進めてきました。

日常生活では、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更され、各地区の行事が再開されるなど、コロナ禍前の光景が戻ってきています。昨年8月には、第77回あつぎ鮎まつりを4年ぶりにフルスペックで開催できました。会場を埋め尽くす皆さまの笑顔の前に、愛する厚木市を今以上に、魅力あ

厚木市長 山口 貴裕

るまちに磨き上げていきたいという決意を新たにしたところです。

この決意の下、24年度は、「まずはやりたい8つの政策」の中でも重要な施策として、幅広い世代の皆さまから賛同いただいた、小・中学校の給食費の無償化を4月からスタートし、子育て世帯の負担軽減に取り組むとともに、子どもたちの安心で充実した食の環境を社会全体で支えていきます。また、多くの市民の皆さまから期待を寄せられている、本厚木駅北口の生まれ変わりについては、周辺を面として捉え、魅力あふれる厚木の玄関口を目指すため、再開発準備組合への支援や図書館、(仮称)未来館、市庁舎などからなる複合



「かながわこどもまんなかプロジェクト」に寄せたメッセージ

施設の建設など、積極的に取り組みを進めています。さらに、本市の充実した都市基盤整備を計画的に推進するため、新たな土地区画整理事業に取り組んでいただく地権者の皆さまを支援していきます。その他、文化会館のリニューアルオープンを契機に、文化芸術の主体である市民の皆さまが活発に活動できるよう支援するとともに、一流の文化芸術に触れ、身近に感じることで、自分もやってみたいと思えるような機会を多く設け、「文化芸術の聖地づくり」を進めます。

熱い思いを未来へつなぐ

今年の箱根駅伝は、青山学院大学が大会新記録で7度目の総合優勝を飾りました。駅伝は、選手がたすきをつないでいく競技です。そのたすきには、仲間の思いや汗、励ましの気持ちが染み込んでいます。本市は、25年2月1日に市制施行70周年を迎えます。これは、70年もの間、多くの皆さまが熱い

思いを込めて、ふるさと厚木というたすきを今につなげてきた結果です。現在、この記念すべき節目を市全体で祝うため、記念事業の実施に向けた準備を進めています。私の使命は、厚木の歴史や熱い思い、そして汗が染み込んだたすきを、市民の皆さまと共に次の世代へつなげていくことだと強く感じています。本市を取り巻く環境は刻々と変化を続けています。私は、施政のかじ取り役として、目指すまちづくりの方向性を示すため、新たな総合計画を策定し、ふるさと厚木のたすきを未来へとつなげられるよう、市民の皆さまと共に、さらなる厚木の発展と、誰もが誇りに思えるまちづくりを進めていきます。

「原点」を胸に憧れを抱かれるまちへ

「原点」。これは、読売ジャイアンツで選手・監督として活躍した原辰徳さんから直接頂いた言葉です。原さんは、小学2年生から中学1年生までを本市で過ごされ、

市内の少年野球チームで野球を始めたそうです。市営球場でホームランを打ったことがとても印象に残っていると語っておられました。野球少年として日々を過ごした本市は、原さんの長い野球人生の原点となっています。選手、また、監督として数々の栄光を手にしたのは、原点を忘れず、たゆまぬ努力を続け、さまざまな困難に打ち勝ち、自らを磨き上げた結果ではないかと思います。

市制施行から70年間、多くの皆さまが熱い思いを込めて育ててきた厚木市は、ここに暮らす人々の愛情であふれています。この愛情をさらに育み、あつき愛に満ちあふれたまちにしたいという思い、これこそが私の原点です。この原点を忘れず、本市に眠っているたくさんの可能性を掘り起こし、魅力あふれるまち、誇りを持てるまちとして磨き上げ、全国、全世界から憧れを抱かれるまちづくりに取り組んでいきます。

全文は市ホームページに掲載



2024年度予算	5
一般会計	6
1 子育て・教育で選ばれるまちの実現	8
2 福祉の充実による住みやすいまちの実現	10
3 災害から命と暮らしを守り抜くまちの実現	12
4 魅力あふれる厚木の創造	
スポーツ・文化芸術・歴史の聖地の実現	14
生まれ変わる中心市街地の実現	15
強い財政力をいかしたまちの実現	
道路交通の円滑化の実現	16
持続可能なあつぎの農業の実現	17
安心して暮らせる防犯のまちの実現	
カーボンニュートラルの達成に向けて	18
主要事業ピックアップ	19

県央姉妹都市構想の実現

～都市間連携による「強いエリア」「魅力あるエリア」の創造～

5市町村（厚木・秦野・伊勢原市、愛川町、清川村）が県央やまなみ地域を一つの広域的な行政圏域と捉え、観光や農業の振興、高規格道路の整備促進の他、災害対応や人材育成、環境啓発、スポーツ、文化、デジタル技術の活用など、企業との連携も含め、多様な分野で行政間の壁を越えて取り組みます。

【観光振興】

ガストロノミー・ツーリズムの手法を用い、地域で愛される食をテーマとした広域観光を振興します。

【鳥獣被害対策】

ニホンザルなど野生鳥獣の被害対策強化に向け専門部会を設置し、より横断的で効果的な施策を展開します。

【厚木秦野道路の早期整備】

東名高速道路や新東名高速道路、圏央道などの高規格幹線道路と一体となった広域的な道路ネットワークの形成と地域内交通の円滑化に向け、引き続き事業を推進。県や関係市町村と連携しながら、国などに早期整備の実現を要望します。

2024年度 予算

問 財政課 ☎225-2170

予算 過去最大

総額 **1725億830万5千円**
(前年度比 4.9%増)

一般会計 過去最大

総額 **1038億円**
(前年度比 6.8%増※)

6・7
ページへ

※23年度当初予算(骨格予算)に政策的経費を中心
に計上した補正2号を加えた本予算との比較

特別会計

総額 **456億9909万1千円**
(前年度比 2.9%増)

公営企業会計

総額 **230億921万4千円**
(前年度比 0.2%増)

公営企業会計は、民間企業と同じように事業収入で運営している事業の会計です。市には二つの公営企業会計があります。

病院事業会計

市立病院の運営

●収益的収支(前年度比)
収益 121億1000万円(2.1%増)
費用 119億7500万円(1.5%増)

●資本的収支(前年度比)
収入 12億1700万円(13.1%増)
支出 18億3700万円(14.4%増)

公共下水道事業会計

下水道の建設や維持管理費

●収益的収支(前年度比)
収益 64億1564万6千円(1.7%減)
費用 62億6564万1千円(3.8%減)

●資本的収支(前年度比)
収入 18億3861万7千円(2.1%減)
支出 29億3157万3千円(4.1%減)

特別会計は、特定の歳入を特定の歳出に充て、目的に応じて使う会計です。市には五つの特別会計があります。

公共用地取得事業特別会計

7億9886万1千円(前年度比44.4%減)
公共用地の先行取得など

後期高齢者医療事業特別会計

42億700万円(前年度比15.5%増)
後期高齢者への医療給付に必要な保険料の徴収など

国民健康保険事業特別会計

215億2800万円(前年度比2.5%減)
国民健康保険料が主な財源で、被保険者が病気やけがをした場合の給付など

介護保険事業特別会計

182億7300万円(前年度比6%増)
介護保険料が主な財源で、被保険者が介護サービスを利用した場合の給付など

学校給食事業特別会計(新設)

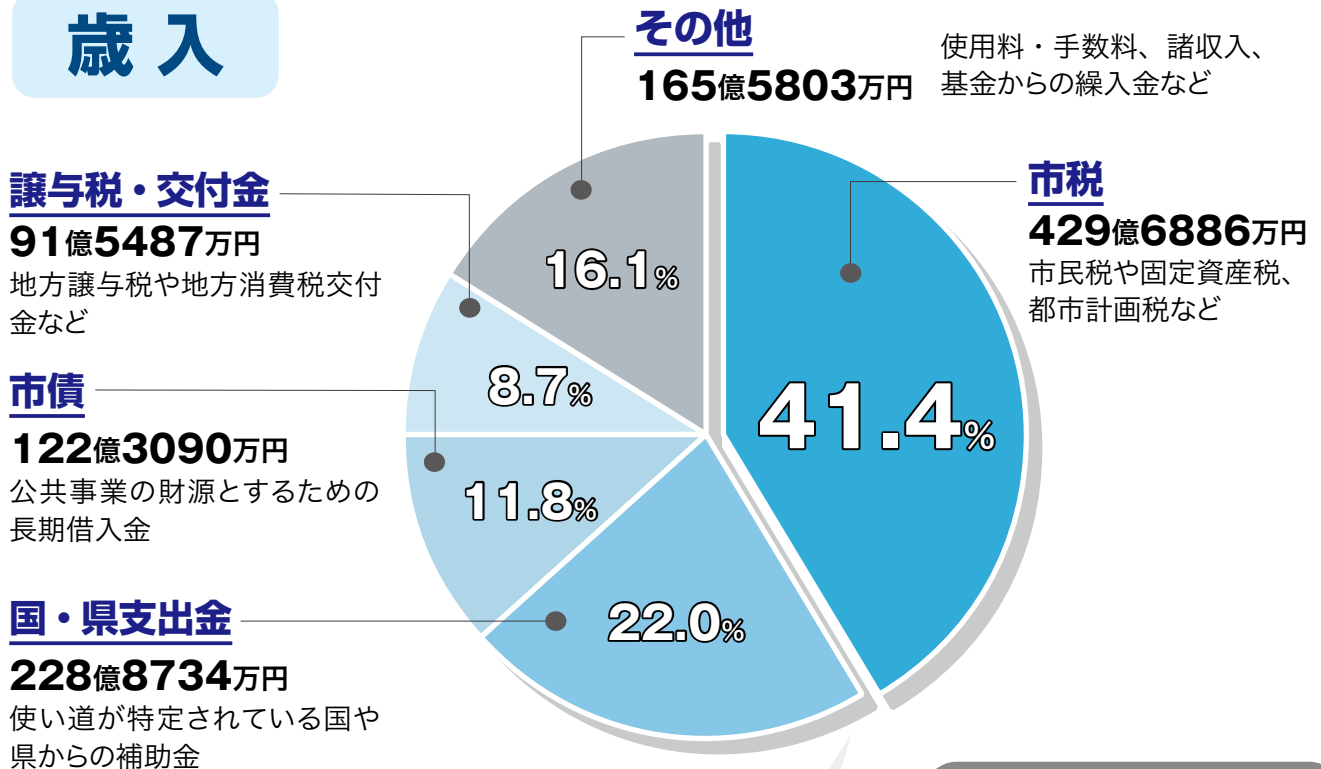
8億9223万円(皆増)
市立小・中学校の給食材料費

一般会計

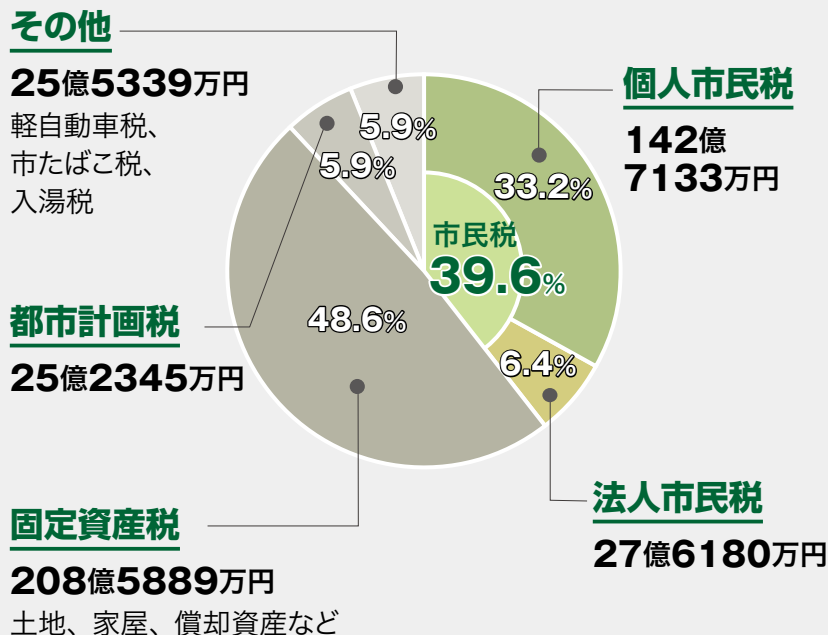
総額1038億円

一般会計は、福祉や防災、道路、教育など市の基本的な仕事の収入と支出を管理する会計です。

歳入



《市税収入の内訳》



基金と市債

基金(一般会計)

年度間の財源調整をする財政調整基金の他、教育、文化振興、災害対策など特定の目的で積み立てる資金です。

基金の合計額

264億4987万円
(24年度末見込み額)

市債(一般会計)

学校や道路など、長期にわたって使用する公共施設の整備に必要な市債(長期借入)を発行します。

市債の残高

759億1358万円
(24年度末見込み額)

歳出

どんなことに使われている？

目的別 福祉や教育など、行政の目的に着目した歳出の分類

その他

82億4630万円
商工費、消防費など

公債費

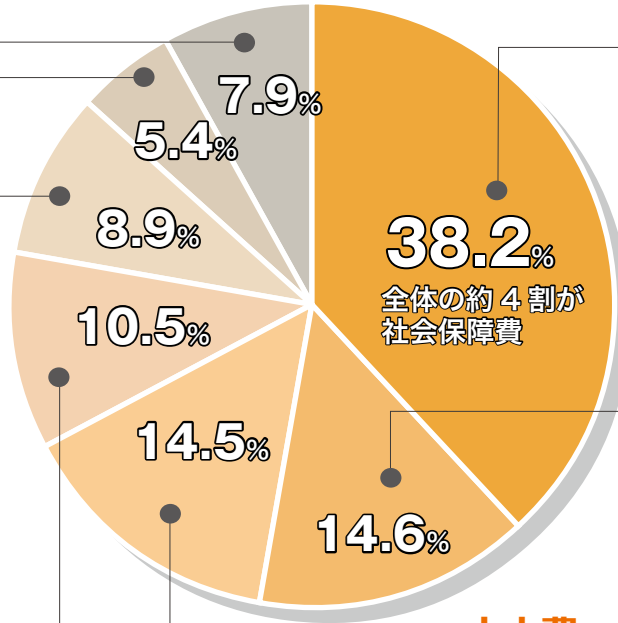
55億5976万円
借り入れた市債の返済

教育費

92億3569万円
学校教育、社会教育、
スポーツ振興など

衛生費

108億9567万円
健康増進、疾病予防、環境対策、
ごみ処理など



民生費

396億1415万円
高齢者や子育てなどの
福祉サービス

総務費

151億9448万円
庁舎の維持管理、統計
調査など

土木費

150億5395万円
道路や公園、河川の整備など

性質別 人件費や扶助費など、経費の経済的性質に着目した歳出の分類

その他

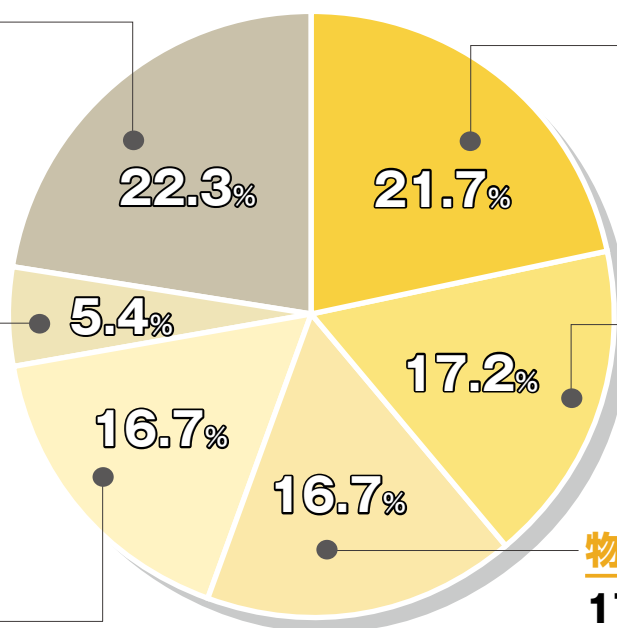
231億7382万円
維持補修や団体への運営
費補助金、基金への積立
金など

公債費

55億5976万円
公共事業などの財源
として借り入れた市債
の返済

人件費

173億1876万円
職員給料や議員の報酬など



扶助費

225億3581万円
児童手当や子育てなどの
福祉サービスなど

普通建設事業費

178億8225万円
道路や公園などの公共施設
の建設・改良工事など

物件費

173億2960万円
公共施設の施設運営費や消耗品など

詳しくは

1 子育て・教育で選ばれるまちの実現

学校給食費の無償化や小・中学校への冷暖房設備設置などにより、子育て環境や子どもたちの教育環境の充実に取り組みます。

子どもたちの健やかな成長を応援・保護者の負担も軽減

学校給食費の無償化 県内市初



◆学校給食費無償化対応

新規 **7億9995万円** 学校給食課

未来を担う子どもたちの食の環境を社会全体で支えるとともに、保護者の教育に係る負担を軽減するため、市立小・中学校の給食費を無償化します。

◆小中学校学校給食費相当額助成事業

新規 **4269万円** 学校給食課

食物アレルギーなどで給食の提供を受けられない市立小・中学校の児童・生徒や、私立学校、特別支援学校などに通う子どもの保護者に市立学校の給食費相当額を助成します。

より良い生活習慣に

睡眠教育推進事業

新規 **70万円** 教育指導課

アプリを活用した睡眠・朝食状況調査をモデル校で実施。睡眠教育（眠育）の観点を加えた取り組みを進め、子どもたちの基本的な生活習慣の育成や学校生活の充実につなげます。

自分のペースで学習・生活できるように

登校支援推進事業

拡大 **1248万円** 青少年教育相談センター

不登校児童・生徒が自分に合ったペースで学習・生活できる居場所「校内教育支援センター フリールーム」の取り組みを推進。中学校のモデル校には非常勤講師を配置し、個別支援を充実します。

授業や部活動を快適に・災害時の避難所機能も強化--

体育館冷暖房設備設置事業

新規 2371万円

学校施設課

安心・安全で快適な教育環境を確保するとともに、災害時の避難所としての機能を強化するため、市立小・中学校の体育館に冷暖房設備を設置します。

※2024年度は小学校3校、中学校11校に設置。3年間で全校に設置予定。



幼稚園教諭の確保に向けて-----

幼稚園教諭等雇用 サポート事業補助金 県内初

新規 1275万円

こども育成課

幼稚園を設置する学校法人などに対し、雇用に係る費用を補助します。

【補助上限額】 75万円



学校生活に円滑になじめるように-----

幼保小連携推進事業

新規 21万円

こども育成課

義務教育開始前後の児童が、学校生活に円滑になじみ、生涯にわたる学びや生活の基盤を育めるよう、幼稚園・保育所・小学校の関係者が連携して、組織的にサポートできる体制を作ります。

産前産後をサポート-----

母子支援事業

拡大 5049万円

こども家庭センター

産院への通所型・宿泊型で実施している産後ケアに、訪問型を追加します。経済的に困窮している方を対象に、妊娠判定検査の初回産科受診料を補助します。

【妊娠判定検査 補助上限額】 1万円

保育士の確保に向けて-----

保育士等就労 応援給付金

拡大 1億3232万円

保育課

市内の保育施設で働く保育士などに給付していた手当を増額。対象外だった非常勤保育士も一部対象として給付します。

【給付額/年】

常勤=勤続年数に応じて15~50万円

非常勤=3万円(新規)

2 福祉の充実による住みやすいまちの実現

高齢者の外出支援や、日常生活用具の補助、予防接種助成の拡大、障がい者雇用の促進、児童発達支援などで誰もが住みやすいまちを目指します。



かなちゃん手形1年券の助成額を拡大 -----

高齢者外出支援事業

拡大 1億1936万円 福祉総合支援課

1回100円で乗車できる高齢者バス割引乗車券「かなちゃん手形」の1年券の助成額を拡大します。

【助成額】 4800円 → 7800円
(自己負担額6000円 → 3000円)

安全な移動をサポート -----

外出支援担い手育成事業

新規 31万円 地域包括ケア推進課

高齢者や障がいがある方などの移動支援の新たな担い手を対象に、安全に支援できるよう運転や介助の知識・技術を学ぶ講習会を開催します。

補聴器の助成を拡大 -----

日常生活用具給付等事業

拡大 1658万円 福祉総合支援課

生活利便性を高めるとともに在宅での自立した生活を支援するため、補聴器購入の助成額を拡大します。

【助成額】 1万円 → 2万円



带状疱疹予防接種の助成を新設-----

成人保健予防接種事業

拡大 2億3623万円 健康医療課

带状疱疹予防接種費用の一部助成を新たに開始し、経済的負担を軽減するとともに、疾病の発症の予防につなげます。

带状疱疹予防接種

- 【対象】** 50歳以上
- 【助成額】** 不活化ワクチン=1万円（2回）
生ワクチン=5000円



交付額を増額し就労機会を拡大-----

障害者雇用奨励交付金

拡大 817万円 産業振興課

市内中小企業などが障がい者を雇用した際の奨励金を拡充し、雇用促進と就労機会の拡大を進めます。

- 【交付額】** 市内在住者 6万円 → 10万円
市外在住者 5万円



介護人材確保のために-----

介護職員キャリアアップ等支援事業補助金

拡大 4130万円 介護福祉課

介護事業所の人材確保や研修などの経費に加え、職場環境の整備の費用も新たに補助対象とし、介護の現場を支えています。

通園支援事業を開始-----

児童発達支援事業

拡大 7247万円 こども家庭センター

医療的ケアが必要ななどの理由で、市児童発達支援センター「ひよこ園」の通園バスの利用が困難な児童を個別送迎する通園支援事業を新たに始めます。

③ 災害から命と暮らしを守り抜くまちの実現

地震や火災、風水害などの災害から市民の皆さんの命と暮らしを守るため、防災・減災対策を進めます。

危機・災害情報をAIで解析・収集

災害情報収集伝達システム運用事業

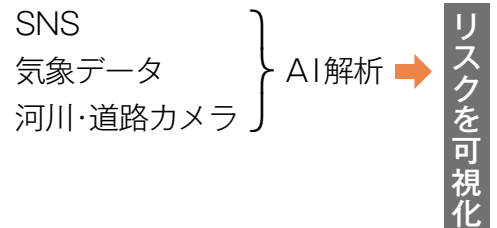
拡大 899万円

危機管理課



SNSや気象データなどから、さまざまな危機・災害に関する情報をAIでリアルタイムに解析・収集し、リスクを可視化するシステムを導入します。災害時の被害状況把握や緊急時の意思決定、防災・リスクマネジメントに活用していきます。

【事業イメージ】



地震による電気火災のリスクを軽減

感震ブレーカー整備事業

新規 300万円

危機管理課

大規模地震による停電が復旧した際に起こりやすい、電気機器への通電による火災のリスクを軽減するため、新たに感震ブレーカーを有償配布します。

【自己負担額】 1個500円



迅速な状況把握・情報収集のために

消防活動用ドローン導入事業

新規 225万円

警防課

災害の状況把握や情報収集を水中から迅速かつ効率的に実施するため、消防活動用の水中用ドローンを導入します。



災害時の停電に備え発電機などを貸与

災害時医療対策事業

新規 778万円

危機管理課

災害時に医療機関が必要とする電力を確保できるよう、医師会と歯科医師会に対して発電機などを貸与し、災害時の医療体制の強化に努めます。



災害から命を守るために

防災備蓄品整備事業

拡大 2507万円

危機管理課

災害に備え、食料・乳幼児用ミルク・給水用具・避難所での生活用品などを購入し備蓄。能登半島地震などの教訓を生かし、災害への備えを充実させていきます。



4 魅力あふれる厚木の創造

厚木の魅力を磨き上げ、誰もが住んでよかった、住みたいと思い、誇りを持てるようなまちづくりに取り組みます。

スポーツ・文化芸術・歴史の聖地の実現

スポーツの聖地計画 策定事業

新規 924万円 スポーツ魅力創造課

トップアスリートのプレーが観戦できる「みるスポーツ施設」と、市民の皆さんが快適にプレーでき、各種目の活動拠点となる「するスポーツ施設」の新規整備やリニューアルを検討します。



スポーツ合宿誘致事業 補助金

新規 150万円 スポーツ魅力創造課

市内のスポーツ施設などを使用し、かつ市内宿泊施設に宿泊して合宿などをする市外のスポーツ団体や個人に補助金を交付します。

【補助額】 1人1泊2000円

文化会館リニューアル事業

拡大 44億6541万円

文化魅力創造課

リニューアルオープンに向け、天井の補強など安全性を向上するとともに、難聴者支援システムの設置や点字ブロックの増設などにより、バリアフリーに配慮した改修を進めます。



【リニューアルオープン】

2025年1月

生まれ変わる中心市街地の実現

本厚木駅北口周辺
整備事業

拡大 4558万円 市街地整備課

本厚木駅北口駅前と周辺地区の再整備に向け、再開発準備組合を支援するとともに、一体的かつ機能的なデザインで全国から憧れを抱かれる街並みの構築に取り組みます。



強い財政力をいかしたまちの実現

森の里東土地区画整理
推進事業

継続 1057万円 区画整理課

A・B・C工区が完成し、現在8社が操業中。2024年度中に施行地区の新町名を「森の里紅葉台」とし、事業が完了します。

酒井土地区画整理
推進事業

継続 9006万円 区画整理課

事業完了に向け、道路や排水路などの整備を進めます。



◆山際土地区画整理推進事業

拡大 355万円

◆山際北部土地区画整理推進事業

継続 1554万円

◆長谷南部土地区画整理推進事業

新規 1301万円

事業化に向け、地権者組織を支援します。

4 魅力あふれる厚木の創造

道路交通の円滑化の実現

水引小野線周辺道路改良事業

新規 1000万円 交通混雑対策課

水引小野線と周辺道路の交通を分散化し、スムーズに移動できる道路環境づくりに取り組みます。



公共交通利便性向上事業

拡大 630万円 都市計画課

路線バスの定時性・速達性向上のため、市道辻戸室線で周辺の工業団地に立地する企業の協力を得ながら、交通需要マネジメント（TDM）施策による交通混雑緩和に向けて検討します。

駐車場・道路交通環境改善事業

新規 1200万円 道路総務課

大型トラックの交通量増加に伴う路上駐車問題の解決に向け、駐車場の在り方を調査し、企業活動の環境整備をするとともに、道路交通環境の改善に取り組みます。

街路整備関連

継続 13億9204万円 交通混雑対策課
道路整備課

環状・放射状都市計画道路の整備を推進し、地域間移動の円滑性や高規格幹線道路へのアクセスを向上します。

【整備路線】

- ◆厚木環状3号線 (工事) ※右写真
- ◆本厚木下津古久線 (工事)
- ◆酒井長谷線 (工事)
- ◆厚木環状2号線 (設計)
- ◆上今泉岡津古久線 (測量)
- ◆街路用地取得



持続可能なあつぎの農業の実現

地産地消推進事業

継続 465万円 農業政策課

厚木市民朝市をはじめ、夕焼け市、農産物の直売、農業まつりなどの開催をサポートし、地産地消を推進していきます。

学校給食地場農畜産物使用促進

拡大 888万円 学校給食課

あつぎ産米の提供など、パクパクあつぎ産デーの実施を通して、子どもたちが地場農畜産物を味わう機会を増やします。

※予算はP8学校給食費の無償化関連に含む

厚木市民朝市
50周年

厚木市民朝市は、今年11月に50周年を迎えます。記念のイベントを開催するなど、地産地消を盛り上げていきます。

農業研修者受入農家等支援事業

新規 90万円 農業政策課

農業で自立を目指す方を研修者として受け入れる認定農業者を支援し、担い手の確保・育成に取り組みます。

園芸振興・畜産経営支援対策事業補助金

継続 1716万円 農業政策課

花き・野菜・果樹・畜産の振興に向けて、生産者や農業団体の活動に対し補助金を交付します。

安心して暮らせる防犯のまちの実現

見守りシステム整備事業

新規 2660万円 暮らし交通安全課

犯罪の抑止に効果が高い見守りシステム（防犯カメラ）を児童館や公園、公民館などに設置します。

【2024年度設置予定】

70カ所
(児童館34、公園21、公民館11、保育所4)



4 魅力あふれる厚木の創造

カーボンニュートラルの達成に向けて

省エネ家電買換え 奨励金

新規 3000万円 環境政策課

温室効果ガス排出量削減を推進するため、省エネ家電買換え奨励金を交付し、省エネ性能の高い家電への買い換えを促進します。

【補助率】 購入額の2分の1（最大5万円）

【対象】 事業開始日以降（6月中旬予定）、市内の登録店舗で省エネ性能の高いエアコン、冷蔵庫に買い換えた方



小学校木質空間づくり 事業

新規 400万円 農業政策課

厚木産木材の利用拡大と子どもたちの教育環境を充実するため、小学校の室内空間の木質化を進めます。



EV公用車導入関連

拡大 721万円 財産管理課
市民協働推進課

2030年度までに全ての公用車を電動化することを目標に、リース更新の時期に合わせ、電気自動車への積極的な転換を進めます。

【EV導入経費】

121万円（軽乗用車1台、軽貨物車11台）

【EV充電器設置経費】

600万円（公民館11館）

主要事業ピックアップ

厚木北公民館整備事業

継続 7億3587万円 市民協働推進課

2025年の完成に向け、本体・電気・空調・衛生工事などを実施。避難所機能の強化に向け、体育室に空調設備を設置する他、キッズトイレや防火水槽などを整備します。

【リニューアルオープン】 2025年4月



病院事業会計重点施策負担金

拡大 2億5000万円 経営管理課

急性期医療、がん診療、小児・周産期医療の充実という三つの重点施策を推進する上で、新たに救急科専門医を拡充し、市民の皆さんから頼られる救急医療体制の確立に、より一層取り組みます。



魅力発信事業

拡大 4028万円 広報シティプロモーション課

シティプロモーション・ブランディングを推進

市の魅力を広く発信するため、PR動画の作成やSNSなどへの広告事業を実施するとともに、アンバサダーの起用やターゲットを定めた戦略的なシティプロモーションに取り組みます。



市制70周年記念事業

新規 2325万円 企画政策課

2025年2月1日の市制施行70周年を市全体で祝うため、あつぎ愛があふれる新たなあつぎの実現に向けた記念事業を実施します。





イベントサイト



カーボンニュートラルサイト



ホームページ



SDGsサイト



子育てサイト

厚木市公式SNS

instagram
@atsugi_city



X (旧Twitter)
@AtsugiCity



LINE



YouTube
@Atsugicity

